

事務事業名 山武市さくらの会支援事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:04 都市の整備

基本事業:99 施策の総合推進

部名:都市建設部

課名:都市整備課

計画年度	年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
山武市さくらの会		山武市さくらの会の活動に資材等を提供し協力する。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 会の総会 ・ 毎月第2、第4木曜日 除草・剪定作業等 58回 作業場所 成東3400-1他（両総用水敷地内） 小松 720-1他（木戸川河川敷） ・ 11月 福祉祭りに参加（桜苗販売 15本） 				
公共の場へ植樹された桜の樹木等が適正に管理されている。		消耗品		111,349円		
		燃料費		29,903円		
		食糧費		18,556円		
		郵便料		12,450円		
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	資材提供回数	件	42	12	30	-
活動指標	市協力参加日数	日	30	58	30	-
成果指標	事業実施延べ件数	件	63	58	40	-
成果指標	事業延べ参加人数	人	581	537	400	-
事業費		千円	92	172	210	
		うち一般財源	千円	92	172	210
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い			市民の暮らしに潤いと安らぎをもたらすことが目的のため。			
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業			公共の場への植栽事業であるため。			
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他			会の目的に賛同して集まったボランティア団体のため。			
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない			計画していた、桜木の移植をすることが出来ませんでした。			
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない			類似の事業があると思われるので、当面調査・検討していきます。			
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない			一つのボランティア団体として、市以外から補助金等を得るなど随時研究し実践している。			